

モートン神経腫（モートン病）

中年期以降の女性にみられます。中趾（なかゆび）の付け根付近の痛みが特徴です。歩行時に鋭い痛みを感じます。また、足先に電気が走るような感じが出ることもあります。これは足趾（あしゆび）に行く神経が足趾の付け根の関節と関節の間で圧迫されて出るといわれています。

第2趾-3趾間、第3趾-4趾間で発症することが多く、足趾の付け根を内外側から圧迫すると神経腫がある場所に痛みが再現されます（Muderテスト）。圧迫された神経は腫れてやや太くなり、刺激されやすい状況になります。

治療ではインソール（足底板、靴の中敷き）の使用やステロイド性消炎剤の注射などが行われます。このような保存治療で効果が乏しい場合には神経の腫れた部分を切除する手術が有効です。



痛みの部位



Muderテスト



切除された神経腫